

# 定例市議会 一般質問

## ○ 中3までの医療費無料化 ○ 小中学校にクーラー設置 ○ 上下水道の『弱者』配慮 について質問しました。

12月定例市議会は、12月5日から21日までの会期で開かれました。  
なかしま満議員が12日に行った一般質問の要旨を紹介します。

### 中3まで医療費を無料にし 「所得制限」を撤廃せよ

#### なかしま

少子化対策、子育て支援  
の中でも最も大きな成果を  
あげているのが、子どもの  
医療費無料化の引き上げだ。

南砺市は20年10月に小学校6年生まで無  
料化し、県下5自治体とともに先進だった。  
しかしこの4年間引き上げず、15市町村  
で最もおくれた6自治体になってしまっ  
た。中3まで無料化しても2500万円程  
でできる。また、「所得制限」を廃止して  
200万円にすぎない。新年度から中3ま  
での無料化と「所得制限」を撤廃せよ。

#### 市長

子どもを産み育てやすい  
環境づくりは、重要な施策  
と位置付けており、保育園

の統合整備による保育サービスの充実、子  
育て支援センターの設置、児童の居場所つ  
くりの推進等を取り組んでいる。  
子どもの医療費無料化については、総合

### 小中学校の普通教室に 計画的にクーラーを設置せよ

#### なかしま

文部科学省は昨年、一昨  
年の猛暑を踏まえ、クー  
ラー設置の補助要件を廃止  
した。国庫補助は3分の1で、市の平野部  
の全小中学校の普通教室に設置しても、一  
般財源は7700万円程だ。

23年度事業の「教育委員会事務の点検・  
評価報告書」でも、学識経験者の意見とし  
て「エアコン設置」を載せている。計画的  
に設置し、子どもたちや父母の声に応えて  
いただきたい。

### 上下水道を「基本水量」まで 使用しない世帯に配慮せよ

#### なかしま

水道は、基本水量を決め、  
その水量を使用しなくて  
も、基本水量を使ったもの  
として料金を徴収する。一人1カ月当り約  
8トンとのことだが、高齢者の1人暮らし  
家庭や、老人家庭は基本水量をはるかに下  
回る家庭も多くあり、見直しを求めらる。

#### 建設部長

また、いわゆる「弱者」の負担軽減が福  
祉分野の施策というなら、「福祉措置」とし  
て行うように。

水質の維持や施設の運転  
管理等の経費の一定部分  
を、使用者全員に均等に負  
担いただくという考えは必要だ。高齢者の  
一人暮らし世帯や老人世帯を一律に生活弱  
者と見なすのではなく、真に配慮すべき対  
象を明確にする必要がある。

市の高齢化の速度を考えると、生活弱者  
対策は喫緊の課題で、福祉政策の一翼を担  
うとすれば、ライフライン分野として何が  
できるか多面的に検討したい。

計画後期計画の中でも対象年齢の拡大の検  
討が明記されている。事業の優先度や市の  
財政状況等も勘案し拡大の検討に入りた  
い。

所得制限は、公平性の観点や福祉医療制  
度全般に導入されており、適正なものと思  
えるが、近隣の状況も勘案し、今一度検討  
したい。

また、県の補助はないのか。なければ補  
助をだすよう要望せよ。

#### 教育委員会

普通教室にクーラーを設  
置するかどうかは、市内の  
全小中学校の耐震補強工事  
が完了する26年度以降に、学校や保護者の  
意見も参考に決定したい。それまでは、グ  
リーンカーテンや扇風機、天井扇などで対  
応したい。

クーラー設置に対する補助制度について  
は、国はあるが県はない。

明けまして

おめでとございませう

二〇一三年 新春

市議会議員 なかしま満



#### 組織議会

なかしま満 議員 総務文教常任委員会に所属

議長	浅田 裕二
副議長	山田 勉
監査委員	城岸 一明

常任委員会	委員長	副委員長
総務文教	川辺 邦明	赤池 伸彦
民生病院	向川 静孝	山本 勝徳
産業建設	池田 庄平	背戸川義之
議会運営	才川 昌一	石崎 俊彦

11月29日臨時市議会(組  
織議会)が開催され、議長に  
浅田裕二氏、副議長に山田勉  
氏を選出し、各常任委員会  
の所属も決まりました。中島満  
議員は、総務文教常任委員  
会の所属となりました。

日本共産党 2013年1月

## なかしま 満

南砺市議会報告 No. 16

発行：日本共産党南砺市委員会  
〒939-1814 南砺市城端1109-21  
Tel(0763)62-3203 Fax(0763)62-3321  
Eメール：n.mituru@bell.ocn.ne.jp



●ご意見、ご要望を何でもお寄せください。

国土問題研究会  
利賀ダム調査団

「調査報告会」開催

- 11月25日、高岡市内において「国土問題研究会・利賀ダム調査団調査報告会」が開かれました。今回は調査団の3氏がそれぞれの専門分野の報告を行い、質疑もかわされました。

ダム建設をやめ、  
既存の施設・ダムとの連携を

国土問題研究会事務局長の中川孝氏は、利賀ダムの治水効果を過大に装っていると指摘し、地すべりの恐れが大きいこと。そして、奈良県の大滝ダムや静岡県太田川ダムの惨状についても説明しました。  
中川氏は、利賀ダムの建設をやめて、流路や護岸の改修、霞堤（かすみてい）など既存の治水施設の活用、既存のダムの連携による洪水調節などによる治水対策を進めるべきだと強調しました。

流域形態からも  
治水効果は小さい

治水の専門家である新川伸氏は、庄川水系は、南北に縦長の流域形態であり、しかも支川の利賀ダムでは、洪水調節能力が不安定となる。平成16年の台風23号のような場合でも、雄神基準点で10cm程度しか水位を下げられず効果は小さいと指摘しました。

ダムに水をためれば  
地すべりを発生させる

地質学の専門家である相谷吉弘氏は、旧利賀村の大半が地すべり地帯で、利賀ダムに水をためれば、地すべりを発生させ、大きな被害をもたらす危険性があるとのべました。  
また、大豆谷地区は斜面から川床に向かって、逆三角形の分布形態を示しており、その先端に葛山（くずやま）と呼ばれる小山がある。これは、地すべりによって移動してきた巨大な土塊の可能性が考えられ、これが地すべりをおさえている可能性がある。水没により変状が生じれば、再移動する可能性が大きいと指摘されました。

県知事選挙

こめたに 寛治氏 10%を得票

県知事選挙は、10月11日告示、28日投票で行われました。「明るい富山県政をみんなで行く会（略称・みんなの会）」の、こめたに寛治候補（65）は無所属、日本共産党推薦は、3万4676票（得票率10.20%）を得ましたが及ばずでした。前回5万4113票（得票率14.74%）でした。南砺市での得票は、2万757票（7.55%）で、前回は3万156票（10.34%）でした。  
当選は、現職の石井隆一氏（66）は無所属、自民、生活、公明、みんな、国民新、民主連推推薦でした。

富山県知事選挙の結果

	こめたに寛治		石井たかかず	
	得票数	得票率	得票数	得票率
富山県	34,676	10.20%	305,043	89.71%
南砺市	2,757	7.55%	33,750	92.45%
投票率	富山県38.66%		南砺市81.43%	

市議会議員選挙結果

順位	氏名	得票	党派	地域
1	山田 勉	1,950	自③	城端
2	片岸 博	1,945	無③	福光
3	水口 邦明	1,943	無③	福光
4	川辺 秀治	1,920	無②	福光
5	得永 忠雄	1,865	無①	福野
6	古軸 裕一	1,843	無②	城端
7	石川 弘	1,781	無①	福野
8	岩崎 修	1,634	無②	井波
9	山本 勝徳	1,616	無②	上平
10	竹田 秀人	1,570	無①	福光
11	高橋佳寿江	1,511	無①	福野
12	齊藤 光一	1,492	無③	福光
13	向川 静孝	1,444	無③	福野
14	池田 庄平	1,438	無③	平
15	赤池 伸彦	1,369	無②	福光
16	助田 幸雄	1,356	無②	井波
17	才川 昌一	1,280	無③	井波
18	榊 祐人	1,227	無②	福光
19	背戸川義之	1,209	無②	井口
20	中島 満	1,120	共②	城端
21	城岸 一明	1,104	無③	利賀
22	長井久美子	1,091	自②	福野
23	浅田 裕二	1,085	無③	井波
24	石崎 俊彦	1,079	自③	福野
次	蓮沼 晃一	969	無②	井波

投票総数 37,317 定数24  
有効投票 36,841 投票率 81.63%

なかしま 満氏 再選

10月21日告示、28日投票の市議会議員選挙（定数24、6減、立候補25人）で、日本共産党のなかしま満候補（64）は現職は、1120票（得票率3.04%）20位で、2期目の当選を果たしました。  
選挙中なかしま候補は、中学3年生までの医療費無料化、小中学校へのクーラー設置、住宅リフォーラム助成制度の実現とともに、消費税、原発、TPPなど国の悪政から市民を守るため全力をあげると訴えました。



日本共産党 8 議席獲得

南砺市 比例 917票、泉野氏 1,824票

12月4日告示、16日投票で行われた衆議院選挙で、日本共産党は改選9議席から8議席への後退となりました。  
比例代表の得票数は369万票（得票率6.13%）で、前回（2009年）の494万票（7.03%）から125万票減りました。  
富山県では、比例代表は1万7411票（3.51%）で、前回から5785票減りました。選挙区の3区では、泉野和之候補が1万3400票（6.34%）を得ました。  
南砺市では、前回の83.55%の投票率から67.76%と大きく後退する中で、比例代表で917票（3.15%）、前回の837票（2.17%）より80票増やしました。選挙区では1824票（6.07%）でした。  
また、2年前の参院選と比較すれば、比例代表が681票で236票増、選挙区（高橋渡候補）の1479票より345票増やしました。

衆院選

南砺市比例代表開票結果

政党名	得票数	得票率
日本共産党	917	3.05%
自由民主党	13,492	44.86%
日本維新の会	5,268	17.52%
民主党	4,870	16.19%
みんなの党	2,114	7.03%
公明党	1,526	5.07%
日本未来の党	920	3.06%
社会民主党	858	2.86%
幸福実現党	108	0.36%
有権者数	45,909	投票率 67.76%

小選挙区富山3区開票結果

	富山3区		南砺市	
	得票数	得票率	得票数	得票率
泉野 和之	13,359	6.33%	1,824	6.07%
橋 慶一郎	162,718	77.11%	23,134	77.03%
朴沢 宏明	34,930	16.55%	5,073	16.89%